

ただ今ご紹介にあずかりました、西尾章治郎です。

奈良先端科学技術大学院大学に入学された皆さん、心からお祝いを申し上げます。  
誠におめでとうございます。

本日、学長の塩崎先生から、皆さんへの臆の言葉を託され、私は一つの問いについて考えてきました。

どうすれば、これからの学生生活を、そして人生を、面白く生きることができるのか。

私が懇意にさせていただいている世界的建築家の安藤忠雄先生は、最近の子供や若者について、しばしば次のように語られます。

今の子供や若者は、自由を謳歌していない。  
勇気と持続力が足りない。  
そして、面白く生きる術を知らない。

では、人生を面白く生きるとは、一体どういうことなのでしょう。

その問いへの一つの答えとして、私が思い至ったのが「正範（注：「はいはん」と読みます）語録」に記された言葉です。

これは、戦国武将武田信玄の言葉に由来するとも言われている語録です。

そこには、次のように記されています。

実力の差は努力の差  
実績の差は責任感の差  
人格の差は苦勞の差  
判断力の差は情報の差

さらに、こう続きます。

真剣だと知恵が出る  
中途半端だと愚痴が出る  
いい加減だと言いつばかり

そして、締め括りはこうです。

本気ですると大抵のことはできる  
本気でするから何でも面白い  
本気でしているから誰かが助けてくれる

私は、この結び三つの言葉に、人生の本質が凝縮されていると感じています。

本気で取り組むからこそ、物事は面白くなる。  
そして、面白いと感じるからこそ、人は力を発揮できる。

つまり、人生を面白く生きる秘訣とは、「本気で生きること」にほかなりません。

そして、本気で何かに向き合っている人の姿には、不思議な力があります。

周りの人の心を動かし、「この人を支えたい」と思わせる力です。

私自身も、この言葉を支えとして、これまでさまざまな課題に本気で向き合ってきました。

その過程で、本当に多くの方々に助けていただきました。

その支えがあったからこそ、今日まで歩んでくることができた、そう実感しています。

本日、新たな一步を踏み出される皆さん、これからの学生生活、そしてその先の人生において、困難に直面することもあるでしょう。

思うようにいかないことも、きっとあります。

しかし、そのときこそ、先程来申し上げてきたことを思い出してください。

本気で取り組めば、物事は面白くなる。

本気で取り組めば、道は開ける。

そして、本気で生きる人のもとには、必ず仲間が集まり、誰かが手を差し伸べてくれます。

どうか、恐れず挑戦してください。

どうか、本気で生きてください。

その歩みが、皆さんの学生生活を、そして人生を、豊かで、実りあるものにしてくれると、私は確信しています。

皆さんの未来が、挑戦と希望に満ちたものとなることを心から願い、私からのメッセージといたします。

本日は誠におめでとうございます。